

【江津の街づくりを考える会】第4回に参加しました

1月16日（金）、江津の街づくりを考える会（本会代表：今井聖造様 石州あかがわら代表取締役、今井産業株式会社顧問）の第4回が開催され、メンバーである建築・電気科の生徒が参加しました。

最初に下村明雄先生に「江津市の近世」についてご講義をいただき、「江津市の領域は古代の邇摩郡・邑智郡・那賀郡にまたがり、中世も複数の領主が別々に支配していた」、「現在の市の中核の新開（当校のある付近）や高浜地区は鉄道の施設後にできた新しい100年ほどの街」、「江戸期の繁栄拠点は本町（郷津）や都野津町」、「江津市は72年前に様々な地域を集めて誕生した街であり、見方を変えれば風土や歴史に束縛されない自由な街」であることを教えていただきました。

次に、「駅舎と駅横のありかた」について、平下茂親様（本会副代表：SUKIMONO 株式会社代表取締役）のファシリテートにより、チームディスカッションをおこない、現状・メリット・デメリット・可能性等について話し合いました。社会人の方と議論し、時折、大人の表情を見せながら意見を発表している生徒の様子を見て、生徒たちがこの会に真剣に取り組んでくれていることをとても嬉しく感じました。そして、これからの江津の街づくりの主役はこの生徒たちの世代だとあらためて思いました。

生徒にリアルな学びの機会をご提供いただいている本会の皆様、ありがとうございます。



SNSにも掲載します



@GOTSU_TECHNICAL